

京都府女性活躍総合支援事業 (企業・地域活動リーダー育成型) 【京都府】

個別事業費	16,742 千円
交付金額	7,551 千円

地域の実情と課題

○職場や地域などの分野で依然として女性の社会進出が進んでおらず各分野でのリーダー育成が必要

・京都企業(府内従業員30名以上300人以下の企業)における職階別女性の割合をみると、係長相当職が15.5%、課長相当職が8.6%(※1)と依然として低い状況である。また、上場企業における女性役員の比率をみても9.1%(全国)と低く(※2)、企業の意思決定に携わる女性が著しく少ない。

・男女が共に家事・育児・介護等の家庭生活上の責任を果たしながら、職場においても活躍できるように、性別を問わず長時間労働の削減、ワーク・ライフ・バランスの推進が重要。

・専門分野別に大学等における女性研究者の割合をみると、工学分野7.4%、理学分野で16.1%(※3)と研究者としての需要が非常に多い両分野において女性の割合が特に少ない。技術開発に女性の視点を生かしたい、人材不足を解消する等の企業ニーズに対応するためには、女性研究者、技術者の裾野拡大を図る支援が必要。

※1: 令和3年度企業における女性の活躍実態調査(京都府)

※2: 有価証券報告書に基づく上場企業の女性役員の状況(2022年7月末時点)(内閣府)

※3: 令和4年度男女共同参画白書(内閣府)

事業の特徴

企業・地域活動の様々な分野で活躍する女性リーダーを育成し、本府の女性活躍、ジェンダー平等の更なる推進を図るため、中小企業における女性活躍推進や働きやすい職場環境整備の取組支援、京都府独自の認証取得支援、女性活躍推進研修、理系女性研究者・技術者等のロールモデル提示、避難所設営体験講座等の防災事業、地域における女性の活躍の推進を図る団体等への取組支援等、多様な取組を一体的に実施した。

事業の効果

各取組の参加者アンケートや、参加者に対するヒアリング、委託事業者からの実績報告により、事業の効果を検証し、効果を確認した。

＜次世代女性リーダー育成研修 参加者アンケート 抜粋＞

「女性の裾野を広げないと会社は今後継続しない」という危機感に気づき、会社にも働きかけていきたいと思いました。

＜京都STEAM女子応援事業 職場見学会・交流会 参加者アンケート 抜粋＞

・理系選択をして、その後の科目選択で悩んでいたの、大学院生の方や社員の方の話を聞いて、今回意思が固まって良かったです。

目的・目標

経済団体等と行政(京都府・京都市・京都労働局)の連携による「輝く女性応援京都会議」(女性活躍推進法第27条に基づく協議会)を母体として、企業や地域における女性リーダーや、デジタル分野も含めた女性起業家の支援等を通じ、様々な分野で活躍する女性リーダーの育成を図る他、日常生活や社会生活の中で様々な困難な問題を抱える女性が増加していることから、民間団体と連携した様々なアプローチで実施する等、京都府の女性活躍の推進、女性が直面している様々な問題の解消へ向けた総合的取組を各団体と連携し実施する。

連携団体

連携団体名: 輝く女性応援京都会議(23団体)

京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、一般社団法人京都経営者協会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、京都府商工会女性部連合会、一般社団法人京都中小企業家同友会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾント京都クラブ、公益財団法人大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

今後の課題

府内全域に更に取組が広がるよう、事業後のアンケート結果も踏まえ、事業内容、開催方法、広報・集客方法等について、より効果的な取組となるよう検討が必要

事業の概要

■中小企業における女性活躍推進、女性リーダーの育成

【働きやすい職場環境づくり支援】

育児・介護休業制度、職場環境づくりやハラスメント防止等、企業のニーズに応じたコンサルティング等を実施し、一般事業主行動計画策定企業（策定予定含む）における計画に係る取組の実施や働き方改革の支援を実施。（支援社数：50社）

【「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証】

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・取組実施等を目指し従業員の働く職場環境改善に取り組む企業を認証する、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証の取得に係る支援を行い、企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進に繋げた。（取得支援社数：50社）

○上記取組の他、企業の中核を担う女性役員や女性管理職等の人材育成、将来を担う中高生等に向けて理工系女性研究者・技術者等のロールモデルを提示する等、以下の女性活躍研修・セミナーを実施。

1. 次世代女性リーダー育成研修2023～京都府女性中核人材育成研修～

実施時期：令和5年9月～令和6年3月（全6回＋成果報告会）

2. 女性のステップアップ研修

実施時期：令和5年10月～令和6年2月（全4回）

3. 上級管理職・人事担当者向け研修

実施日：令和6年2月19日

4. 京都STEAM女子応援事業 職場見学会・交流会

実施日：令和5年8月8日

会場：株式会社片岡製作所 レーザ工場

事業の概要

■地域活動における女性活躍の推進、女性リーダーの育成

○防災リーダー育成事業

男女共同参画の視点に配慮した防災を地域に広げる女性リーダーを育成するため、危機管理部局や市町村と連携し、以下の事業を実施。

1. 避難所設営体験講座(防災講座プログラム)
実施時期: 令和5年5月～令和6年3月(全16回)
2. 災害時女性相談サポーター養成講座
実施時期: 令和5年9月～11月(全4回)
3. 災害時女性相談サポーター・フォローアップ講座
実施時期: 令和5年10月～12月(全2回)
4. 府市連携事業(きょうと男女共同参画センター防災事業)
実施日: 令和5年11月19日

○地域の女性リーダー育成事業

1. 女性活躍応援塾・全体塾
女性活躍応援塾・地域塾参加者を対象に組織運営等の専門家から、団体運営やネットワークづくりのノウハウ等を学ぶ講座を実施。
開催時期: 令和5年8月～令和6年3月
2. 女性活躍応援塾・地域塾
地域における女性の活躍の推進を図る個人又は団体より、地域の女性活躍に資する新規事業計画を公募。採用された事業者は、女性の新規参加者を活動に加え、事業を展開するために必要な知識やノウハウを習得しながら活動(令和5年度は以下の4事業を採択)

(1) 東向日地域活性化プロジェクト

実施時期: 令和5年7月～令和6年3月

(2) 親子と地域をつなぐ食農体験～もうひとつの居場所作りOnemore～

実施時期: 令和5年7月～令和6年3月

(3) 乳がんに対するヘルスリテラシー向上並びに乳がん検査の受診行動の促進

実施時期: 令和5年9月～令和6年3月

(4) 登録無形文化遺産登録の京料理を担う女将、仲居のおもてなしスキル向上事業

実施時期: 令和5年7月～令和6年3月

3. ダブルケア対応力向上研修

市町村、保健所、介護事業所、子育て支援団体等の関係機関の職員等を対象に「様々なダブルケアのかたち」をテーマに講話やダブルケアピア・サポーターの活動報告を踏まえた、参加者での意見交流会を実施することで、今後の支援方策の検討及び地域の支援者のネットワーク構築の支援を実施。

実施日: 令和6年2月6日